

議案第 34 号

中学校使用教科用図書（社会 歴史的分野）の採択替えについて  
上記の議案を提出する。

令和 3 年 7 月 29 日

提出者 板橋区教育委員会教育長 中川 修一

中学校使用教科用図書（社会 歴史的分野）の採択替えについて  
中学校の教科用図書（歴史）の採択替えの可否について決定する。

（提案理由）

自由社の「新しい歴史教科書」が、教科用図書検定規則に基づき、令和 2 年度に文部科学大臣の検定を経て、新たに発行される。

それに伴い、令和 3 年度においては、無償措置法施行規則第 6 条第 3 号に基づき、中学校使用教科用図書（社会 歴史的分野）について、採択替えが可能であり、教育委員会として、採択替えの可否を決定する必要があるため。

## 【資料】

資料1 検定済教科用図書中学校社会科部会調査研究報告書【社会 歴史的分野（自由社）】

資料2 令和3年度 教科用図書区民意見結果

資料3 令和2年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書【社会 歴史的分野】

資料4 令和2年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書【社会 歴史的分野】

## 検定済教科用図書 中学校社会科部会 調査研究報告書

## 種 目 【 社会 歴史 】

## 発行者 【 自由社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○それぞれの章のはじめの導入ページに、小学校で学んだ人物を中心に登場人物紹介コーナーがある。</p> <p>○巻頭に12ページ分、歴史のとらえ方、地域・人物の歴史の調べ方について学べるような序章を設けている。</p> <p>○P17、18の「800字で伝記を書いてみよう」やP67の「ひとこと作文」等、文字数を決めて文章で説明する学習を取り入れており、読み解く力の育成につながる。</p> <p>○学習を進めるヒントとしてキャラクター（翔太さんとさくらさん）の言葉が吹き出しで多く取り入れられている。</p>	○SDGsに関する記述はない。
構成・分量	<p>○それぞれの章の終わりに、P64等「調べ学習のページ」、P66等「復習問題のページ」、P67等「時代の特徴を考えるページ」、P68等「対話とまとめ図のページ」があり、章の振り返りを行える構成になっている。</p> <p>○章末のまとめ図は、対話をもとに歴史の流れや関連性が分かりやすくまとめられている。</p> <p>○左ページ各単元のタイトルの下に中心となる問いがあり、右ページ下には「チャレンジ」という学習を確認する問いが設定されている。</p> <p>○本文欄外の資料説明、側注開設、コラム等の表記のスペースを広く取っており、分かりやすい。</p>	○歴史分野における見方・考え方を働かせて学習を進めるような構成になっていない。
表記・表現	<p>○本文中に登場する資料には必ず番号が振られており、欄外の資料と結び付けやすい。</p> <p>○絵画資料などの出典や収蔵元の美術館が明記されており、学習を深めやすい。</p> <p>○同じ用語に関する記事が別にあることを示すマークがついており、学習を振り返ったり、つなげたりしやすい。</p>	○QRコード等の活用はない。
使用上の便宜	<p>○サイズはA判で303ページである。巻頭2ページが日本各地の世界文化遺産、次の1ページが旧国名と都道府県の地図、P290～291が重要用語解説となっており、P292～297に「事項さくいん」、P298～300に「人名さくいん」が掲載されている。巻末に折り込み式の年表、世界各国・王朝の興亡一覧、元号・西暦早見表が掲載されている。</p> <p>○各ページの上部と下部に章ごとに色分けされた帯があり、分かりやすい。</p> <p>○左ページ下に歴史全体の略年表があり、どの時代を学習しているのかイメージしやすい。</p>	○地理・公民の分野で学ぶ事項との関連を示す記述がなく、分野横断的な学習に不向きである。
発展的内容	<p>○巻頭の旧国名・都道府県名の日本地図と、巻末の年表や元号・西暦早見表は、自学自習の助けとなる資料である。</p> <p>○P32等「もっと知りたい」、P116等「外の目から見た日本」、P134等「人物クローズアップ」等のコラムが全体で34あったり、「歴史の言葉」では、用語の由来やことわざ等を紹介していたりと、様々な視点から歴史的事象を捉えることができる。</p>	○教科書全体を通して、考察や話し合いを促す記述が少なく、教員の側で意図的に入れていく必要がある。

## 令和3年度 教科用図書区民意見結果

1 区民アンケート記入者 34人

2 教科書展示会実施概要

【実施場所】 板橋区教科書センター

【実施期間】 令和3年6月11日(金)～7月10日(土)

※6/12(土)、6/13(日)、6/19(土)、6/20(日)、6/26(土)、6/27(日)を除く

【入場者数】 47人

## 自由社の「新しい歴史教科書」についてのアンケート結果まとめ

1

御意見・御感想

他社の教科書と比べて、日本の国の成り立ち（事件を含め）をリアルに記述されているのが印象的です。特に通常の頁にある用語をテーマや調べ学習という項目でより中身を掘り下げていくよう構成されていると感じました。

一方で、近現代史における戦争に「協力」したなどの戦争の正当化と解釈するような表現に対しては、平和教育をもとに考えると疑問に感じざるを得ないところもありました。

戦争で悲しい事実を目の当たりにした人々の声をもっと内容に盛り込んでいると良いと思います。

構成・分量について

1 つ 1 つのことを掘り下げていくための時間が十分に確保できるかどうかという疑問が残ります。

2

御意見・御感想

特なし

内容について

難しく感じた

3

御意見・御感想

私は、板橋区の就労準備支援事業に携る者でセミナー用のテキストの検討の為来場しました。小・中校の近年の教科書を閲覧し、想像以上に現在 TV 番組やニュースで扱われるテーマや語句が多く驚きました。私共の準備事業でも非常に役立つと考え、中学校用の技術と家庭について購入を検討したいと思います。

内容について

教育図書の技術ハンドブックの見開きで情報技術の用語集が一覧表示されていましたが、大人の私でも知らない用語が多く私共の利用者にとっても興味があるものもあり、大いに参考になりました。

構成・分量について

適量揃っていて満足でした

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

全てが表現が平易で読みやすかったです。

使用上の便宜について

精神療法の専門書もあり、次回また閲覧したいと思いました。

発展的内容について

今後とも来場して現在の教科書について取扱いを拡げてゆきたいと考えています。

(株) パソナ板橋ジョブトレーニングセンター

4

御意見・御感想

・自由社の教科書は、天皇中心主義が歴史学習の大きな柱になっている。現行の教育出版の教科書は庶民（一般人）がどう扱われたのか、（一般人にとって、いかなるものであったのか）に中心が置かれている。生徒は歴史を身近なものとして、とらえるだろう。現行のものを変える必然性・必要性共に全くない。現行の教育出版を使わせたい。

・琉球とアイヌの文化を大きく取り上げている現行本・教育出版は、中学生の世界観を拓けるものである。沖縄の伊波普猷の扱いも、教育出版は学問的根拠に立って書かれていて、中学生の視野を広げるものだ。自由社も同人物を扱っているが、学問的視点は全く見られない。これは中学生にとって、利するものは一つもなく感情論を学ぶに過ぎない。アイヌの扱いも同じことが言える。

・関東大震災の扱い

教育出版（現行本）は、震災時の社会主義者・労働運動家に対する殺害、流言による中国人、朝鮮人への殺害にも言及している。学問的にも明らかになっている歴史的事実であるのに、自由社の教科書では全く触れられていない。未来を創る中学生に、科学的に出来事を見たり、分析したりする力は必要なものである。教育出版の教科書（現行のもの）を変えることは、中学生の発達保障、人間形成にもマイナスしかない。

◎未来を創る中学生には、日本国憲法を守り、科学的に思考し、事実に基づいて物事を判断する力こそ必要である。

自由社の歴史教科書は、その点に於て、利するものは一つもない。現行の教育出版の歴史教科書を継続して使用してもらいたい。

5

御意見・御感想

どのような教科書が使われているか見れてよかった。

6

御意見・御感想

・他社の教科書に比べて、文章が多い。もっと図版を載せて、言葉だけではなく文化財などの物的資料からも何かを感じとってほしい。

※原則、原文そのままに記載しています。

・中学生にとっては難しいと思う。もっと基礎的なことを軸に展開してほしい。あるていどの歴史の流れを知ってから個別に深ぼりする。糸口のような本（大人が読む趣味・教養本）のように見える。どちらかに片寄った内容ではなく、王道的な構成のほうが中学生にはよいのでは？副教材（きわめて片寄った思想になるように思うが...）レベルだと思う。

表記・表現について

中学生には、難しいかも。文言など、普段使わない言葉が多い。先生が補うのが大変ではないか？こんなに知らない用語を多用し、大事な歴史用語が頭に入らないのではないか。

7

御意見・御感想

近代日本の建設以降に興味深く読みました。印象に残ったのは、「世界が見た日露戦争」「終戦をめぐる外交と日本の敗戦～聖断下る」「戦時国際法と戦争犯罪」です。将来に向けて必要な情報と考えます。

内容について

写真、絵、イラスト等の鮮明さに驚きました。

構成・分量について

適量と思います。

表記・表現について

ニュートラルで良いと思います。

使用上の便宜について

サイズの的にも利便性のギリギリで良いと考える。

発展的内容について

良い企画です。

8

御意見・御感想

自由社一

・これ一社が新たに発行されるということで、なぜ展示会→採択をしないのか？それ自体ギモン。不明朗なものを感じる。不要な展示会です。

・P141 赤穂浪士 忠義の考え方は、忠君愛国につながっている。最後の2行

・P238 大東亜戦争ということば自体歴史学的にまちがっていることは、実証されている。あえてこの言葉を使って子どもたちを戦争におくりだすのか。大東亜戦争ということばをあえてつかう人は100人中1人といっている。99対1をあたかも対等である論争のようにまどわしい。採択されたか 板橋の社会科教育は暗黒です。

※原則、原文そのままに記載しています。

・P241 インドネシアの人々の声を聞いたのですか？インドネシアの若者は今でも「日本軍が自分のひいおじいさんを連れ去った」といっています。正しいことを伝えなければ友好は生まれません。

・P192 日露戦争は「国家の命運をかけた」ですか？侵略地とりあいの戦争です→植民地化に反対するのは朝鮮民族として当然の行動です。それが P]199 右すみに「反発を強める人々もいました」という書き方。戦争大好きおじさんの教科書ですね。

## 9

御意見・御感想

まず、歴史を学ぶとは...の中で「あなたの御先祖が、直面した問題を知り・・・ご先祖と語りあうことが・・・」と初めの歴史を学ぶ意義の所で大変違和感を感じた。歴史を学ぶ意義は、もっとグローバルな”人間の営み”という視点が大事だ。自国だけの問題としてとらえることが、NG だ。

●冒頭の歴史の意義にみられるように、本文中も、日本は、〇〇のようなことをされたと被害者意識の強い書き方に驚いた。ex.①否決された日本の人種平等案 (P216) ②ワシントン会議について、国力をつけてきた日本を抑えることがねらいだった (P220) ③日英同盟は、なぜ廃棄されたか。

朝鮮総督府は、過激化した暴動を鎮圧 (?) ではなく朝鮮民族の独立運動を力でおさえて傀儡政府をおいたというのが、歴史通説。

◎満州事変の説明も？柳条湖事件についての記述もない。

・大東亜会議 日本軍が東南アジアに進軍は独立への希望 (?) 現地の人々は日本軍の略奪。労働の強要で、戦後賠償している。

P257 日本国憲法の制定に関し、GHQ に逆らえず (?), GHQ 自らが作成とあるが、実際は、鈴木安蔵を中心とした憲法研究会の案を基に草案が作られたものであるし、その後国会で修正案も加えられ決定したものである。

このような、自国中心の歴史観につらぬかれた教科書は、今後国際社会の中で生きる若者は、日本が世界に、とりわけアジアの人々へ行った事実を知らずに育った若者は世界の中で、相手にされなくなる。(安倍前首相が、サンフランシスコ条約について無知をさらしましたが恥ずかしいです。)

## 10

御意見・御感想

普段は子どもの持っている教科書しか見れないですが、他社のものも見比べられて良かったです。後日受取りでもよいので、購入できると助かると思います。

使用している教科書以外の会社のものを図書館で借りられたり、子どもが気軽に手にできる機会がほしいです。図書館での常設でもよいと思います。色々な視野を広げられると思います。

※原則、原文そのままに記載しています。



1 1

御意見・御感想

学校で配付される教科書以外を見てみたたく寄ってみました

各社様々なことにおどろき つい色々読んでしまいました

自由社の歴史の本が特に面白く自由社とは耳なれない会社でしたが購入してみたくなりました

発展的内容について

もう少し深く知りたい内容もあったように思います

1 2

御意見・御感想

◎一度決めた教科書を後から検定に通ったとして、再度決めなおすことは、おかしい。区民の意見をつのり、教育委員会で採択されたものは、なんだったのですか？次回の教科書を決めるまで、今の決定のままで良い。

◎自由社の教科書には、ところどころ気になる表現がある。中学生が学ぶ教科書としては、初めの「ご先祖が生きた歴史」と、私的な表現になっており、中学生を幼稚にあつかっている。天皇中心に歴史が動いてきたようにとらえがちな進め方も気になる。日本良い国 正しい国という思想で書かれている。生産手段の発達、歴史を動かしてきたという観点があまり感じられない。P155 マルクスについての表現は、“理想とは逆の悲惨な結果をもたらすことになりました”と決めつけている。P175 アイヌの保護と国民化は、アイヌの立場での表現がなく、私人の考えをおしつけている。

P195～日露戦争は、すばらしかったという意見のみ。歴史的な評価は、それに続く太平洋戦争までを広くとらえて、その意味をとうべき。第二次大戦について（P245）聖断をあおぎ等と、天皇が戦争をやめさせたともちあげている。又、アジアが解放されたのは、日本軍のおかげという様な表現もあり、大変気になる。中学生には、持たせたくない教科書である。

表記・表現について

中学生としては幼稚な面がある。歴史の事実に対する客観的表現が欠ける。

・写真や図が多いのはいいが、ページの見にくさがある。本文と図や参考書文等がゴチャゴチャしていて、わかりにくい。

使用上の便宜について

・西洋とアジアとのかかわりが、分かりにくい。

1 3

御意見・御感想

これまでの各出版社の歴史教科書とあまり変わらず、特に近代（近世）においては、日本の自慢話しばかりが目につき、反省を促すべき日本が犯してきた愚業があまりクローズアップされておらず教科書検定の厳しさを改めて感じた。

※原則、原文そのままに記載しています。

例えば、東日本大震災での「日本の進むべき道」P237では、未だに原発事故による避難生活が続いているにも関わらず、「多くの人々が避難生活を“強いられた”」と表記されており、本来であれば「現在においても避難生活を強いられている人々がいる。」などの表現にすべきではないかと思う。

内容について

渋沢栄一など、時の人となっている人物や出来事に焦点を当てて生徒に興味を持たせるなどの工夫がもっと欲しい。

構成・分量について

テレビの歴史ドキュメンタリーを観ているかのようで良い点もあるが、詳細な説明の部分と雑ばくな説明の部分との差があまりにも大きい。

表記・表現について

現在の若者が使用している言葉は、語いが非常に乏しくなっており、この歴史教科書の表現を理解するには国語辞典が必要

使用上の便宜について

(よくわかりません)

発展的内容について

巻頭の伝統的工芸品に(東秩父村の)和紙なども取り入れたら日本の伝統がもっと身近になるのではないのでしょうか。

14

御意見・御感想

- ・一般庶民や農民の暮らしなどにほとんど触れていない。東北大震災も原発事故に触れず、近代の産業発展に伴う労働問題や公害等もきちんと扱っていない。かなりノー天気な日本の歴。これで中学生がまともに育つとは思えない。
- ・新しい発行が一社あるといっても、現在採択のままか、新たに検討するかの討議なく、あたかも採択しなおしのような進め方をすることに疑問を持つ。
- ・閲覧用に、当該教科書が一冊だけとはおかしい。

15

御意見・御感想

- ・現行本 教育出版「中学社会・歴史」は、世界恐慌から日中戦争に至る情勢を史実に基づいて記述されていて、中学生にもわかりやすい。軍閥がいかなる行動をとったのか、よくわかる。今後も、この教科書で生徒に学ばせたい。科学的資料に基づき、社会（歴史も）を科学的に見てゆき、今後を科学的に思考する人間を育てることが、日本の未来につながってゆく。
- ・現行本が「あたらしい憲法のはなし」の大切な部分を資料として出しているのがよい。こ

※原則、原文そのままに記載しています。

れから国際社会で生きていく中学生は、「日本国憲法」について学ぶ必要がある。また、学校教育は日本国憲法を守る教育をすることが何よりも大事だ。日本国憲法を守り、真理・真実を追求する人間を育てることが、今、強く要望されている。中学生が将来の日本、世界で生きていくためにも、日本国憲法を科学的に学ばせたい。

## 16

御意見・御感想

すごく良く出来ている教科書だと感じました。写真や図なども見やすい。(新しい歴史教科書) 中学社会興味を持って集中して読んでいたい教科書になっているなと思いました。

新しい数学3 因数分解、関数等の本も拝見しました。難しい数学もとても良く出来ている教科書ですが、フォロー(補修)が必要な感じはしました。

書写は、授業時間が取れていなければ家でしてほしいと思いました。国語は何の勉強に対しても基本なので、ちょっと足りない?ってちょっと思いましたが、時間はいくらあっても限りがある中で教科書は良く出来ていると思いました。一番、時間割りで多く、大切な国語。

内容について

見安く、読みものとしてもおもしろい。

構成・分量について

この内容でこの構成分量。すごく良いと思いました。

表記・表現について

写真も多く、とても表現力がある。

使用上の便宜について

毎日教科書を持ちかえってこないのも、もちかえってきて(うちの子)よんでほしい。クイズを宿題にしてほしい!!年表など書きうつすなど宿題にしてほしい。シールをためていくとかのページをつくってもっともっと教科書を活用してほしい(教科書がボロボロになるまで 笑)

## 17

御意見・御感想

歴史の教科書を閲覧しました。とても分かりやすく、私たちが勉強していた頃の物と違い読みやすかったです。近代日本史について、もう少し詳しく教えてほしいと思います。なぜ戦争になったのかとか戦争責任についてとか原子爆弾の事(2種類の爆弾をアメリカが使用した事)等々です。私は大人になって興味をもって知った事が沢山ありました。それまでは日本は悪い国だったと思っていましたが、実はアメリカも日本に対して酷い事をしていました。もっと日本という国に誇りを持てるような内容の教育をして欲しいと思いました。もちろん戦争の悲惨な事、平和の尊さは、教えてもらいたいです。

※原則、原文そのままに記載しています。

内容について

良いと思いますが、もう少し細かい説明があるといいと思います

構成・分量について

見やすかったです

表記・表現について

中立的で良いと思います。生徒が自分で考えられると思います

使用上の便宜について

特に無いです

発展的内容について

上に書いた通りです

18

内容について

カラフルで楽しく学習できそう

使用上の便宜について

重そうなので教科書を分けるなりで工夫したい

19

御意見・御感想

まずは板橋区教育委員会が自由社の「中学社会新しい歴史教科書」に限定したアンケートを実施した目的を明らかにしてもらいたい。他の教科書についてのアンケートを求めなかったのか。

①冒頭 P.2 でこの教科書の特性が出ている→ご先祖が生きた歴史。→日本歴史の伝統→自分のこととして考えてみる である。今、歴史学習は世界に目を広げて自分たちの歴史を学ぼうという視点が広がっている。

内容について

表現が全体的難しいのではないか

構成・分量について

「序章の歴史のとらえ方」は 1 年生がはじめて学ぶ歴史の導入としてはむしろかしい。

表記・分量について

自分達の独自性をみせようとして中学生にはむしろかしい記述になっている。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

中学生の発展段階にそって記述になっていない

発展的内容について

中学生の発展段階をふまえ～の歴史学習の流れを無視している。

20

御意見・御感想

中学校の社会科教科書は、すでに教育出版に決まっていたようです。なぜ、自由社の教科書を選択のひとつに加えたいのかの説明が知りたいです。(反対します)

歴史については、事案を子どもたちに教え、日本国憲法を敵視する内容に反対します。

今も地球のどこかで戦争があり、弱い立場の子どもや女性、障がい者が犠牲になっている事案を教えてほしいのに、侵略戦争を肯定する教科書には反対します。

内容について

自衛隊が、今、コロナワクチンの接種に協力的だが、軍隊であるということを強調しているのは反対だし、許せません。

使用上の便宜について

どうぞ、真実を教える教科書で、純心なる子どもたちに、教えてください。

発展的内容について

原子力発電についても、CO2を出さないで環境によいというよりまだまだ問題が残されていることを教えてほしい。

21

御意見・御感想

自由社の教科書は、アジア太平洋戦争について「アジアの解放をかかげた日本は、敗れたが、アジアは植民地から解放され、独立を達成した」とあるが、国民が、だまされていたことは書かず、積極的に国家に協力したことを強調していたと教えている。また、沖縄戦についても、集団自決に追いこまれたことを書いていない。「日本軍によって」という文言はなく、日本軍の住民虐殺に触れていないのはおかしい。昨年採択された教育出版の歴史教科は妥当であり、今年改めて、採択をやり直す必要はないとおもいます。

表記・表現について

使用上の便宜について 発展的内容について は、現場の方しか書けません。

このアンケートの用式は、書きにくいです。項目がない方がいいと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

内容について

自由社の教科書は、架空の人物 神武天皇を人名索引に載せ、系図まで載せているのは、歴史教科書として、ふさわしくないと思います。歴史の教科書に神話を細々と何ページにもわたり記述しているのは、必要ないと思います。

22

御意見・御感想

・歴史認識でいろいろな新しい発見あり変化しているのに、前世紀に戻ったような言葉使いが多くあるように思う ex 大東亜戦争など

・原発については、今だに良いように書いている。世界史でも原発を使用しないよういろいろと努力しているし、どれだけ危けんなものか未だに良いもののように教えようとしている。復興オリンピックと銘うって東京オリンピックになったが現地は報道されているよりずっとひどい状態。それを表に出さない、出せない国が日本のように思う。

ブキを持っていると使いたくなる、悪い事をする人は自分を守るため持っていると言うが、必ず、持っているが由に使いたくなる。日本も武器を持たない国になってほしい。

去年度新しい教科書になったのに別なのが通ったからとなぜ改めてお金をつかうのか、税金を余分に使わず、次回に回せば良いと考えます。

23

御意見・御感想

写真を多く活用していて、歴史のイメージが分かりやすかったです。また、カラーが豊富で、子供達も楽しく学べるのではと感じました。

24

御意見・御感想

よく争点になるアジア、沖縄、アイヌについての内容は確かに問題があるように思う。民族の内側の視点に欠け、日本側からの主張に片寄っている。

他社の教科書が高校世界史につながるような人類史を意識しているのに対して、自由社のものは世界のなかでも特異な日本の歴史というような視点に立っているように思う。日本が大和民族の国という考えも、現代の多様な人種が住む日本の状態に見合っていないように思う。

内容について

例えば山川などは世界史を意識しているが、自由社はあくまで日本史にこだわっているように思う。

構成・分量について

内容に対して修飾語が多く思える。

表記・表現について

著作者が内容に対して感情移入しすぎているように思う。

※原則、原文そのままに記載しています。

発展的内容について

この内容では高校で本格的に学ぶ世界史とその後の受験とのつながりが弱く、遅れになると思う。

25

御意見・御感想

板橋区立第八小学校より『はちっこ』という学校からの行事やお知らせの新聞が回覧されて来ました。

それによると、板橋区は、東京 23 区の中で学力が最下位で、その中でも第八小学校は、一番下という事でした。板橋区は、下村博文氏が文部科学大臣を勤めたのに、この有様は、どんなものかと思いました。教科書閲覧の機会がありましたので、見学しにきました。

内容について

- ・ 古代の縄文・弥生時代から始まった授業が長く、明治時代に入るのがまれで、近代の事は学ぶのはまれで、現代に生きていくのに役に立たない。

構成・分量について

- ・ 本の一冊は重すぎます。
- ・ 古代から江戸時代までと、明治時代から現代までの 2 冊にした方が良い。

表記・表現について

- ・ 地名と人名はルビをふってもいいが、その他がふりすぎ
- ・ フリガナがふってあれば読めるという外国人向けの教科書ですか

使用上の便宜について

どこの場所で事が起きているのか、良く判らない。一つ一つ、地図で示してほしい。

26

御意見・御感想

想像と少し違ってました。(良い意味で)

27

御意見・御感想

P.53 日本の天皇と天の思想 古事記はいわゆる神話であり検証不能の「ものがたり」である。現在の天皇が古事記に登上する「神」の子孫であるという証拠、科学的根拠はない。その事の記述がないのは納得できない。

P.192～193 日露戦争が日本の勝利だったというのは、軍部による無理矢理の宣言である。実際には両軍の消耗が甚だしく、両国ともこれ以上の戦闘ができなくなった為の終結であり、日本がロシアから賠償金を得られなかった事がその証拠である。「勝利」という言葉を使ってはならない。

※原則、原文そのままに記載しています。

P.198 韓国併合は欧米による植民地政策とは全く別物であり、相手国の国民の尊厳を根こそぎ否定した卑劣なものであった。それが今だに両国に深い溝を残している。

P.215 「戦争で女性の地位が向上するなんて・・・」という表現はふさわしくない。女性が働くようになったのは男性が戦争に行って、人手が足りなくなった為であり、決して女性の地位を向上させる事を目的としたものではなかった。

P.220～221 日露戦争後の欧米からの日本へのしめつけは、長い鎖国時代から続く視野のせまさと、外交力なさによるものである。中国をはじめ、アジア諸国への根拠のない優越的思考の裏返しでもある。これらは次の日中戦争、太平洋戦争へと続くものである。

P.232～統制の取れなくなった日本政府が軍部の力に押し切られ、マスコミも追従して国民の判断力をそぎ、大戦へ進んでいった事実を、単に時系列ではなく、背景の記述も必要である。日本は米・英軍から受けた戦争被害以上とも言える加害も、アジア諸国にもたらした事を、なかった事にしてはならない。

P.240～日本軍による「アジア諸国の解放」は全くのこじつけである事は、今や自明の事である。政府、軍部が日本人の命をいかに軽視したか、明記するべき。特攻、沖縄戦の事実を隠してはならない。

P.247 日本軍の行った戦争犯罪は、ヒロシマ・ナガサキの原爆による被害でちょう消しになるものではない。それらは全く別物である。

P.257 日本軍部と靖国神社の関係を記述してほしい。東京裁判により死刑になった者まで「神」として祭るのは倫理に反する。

使用上の便宜について

歴史の学習は、第一に史実をそのまま、個人的な感情をまじえずに教える事が大事。愛国心ウンヌンは、別の教科で考え、学ばせる。我が国の恥部は隠すのが良いという教育では、近い将来、同じ歴史をくり返す事になりかねない。

## 28

御意見・御感想

社会科 とくに近現代史はやはり未来を担う児童・生徒さんたちにとって必要な事柄であり、政府にとって（区政ではありません）都合の悪い事であっても、事ム方の英知で文言を選び教科書にのせなくてはならないのではないのでしょうか P.S.カラー写真がうらやましい

## 29

御意見・御感想

自由社（自）、東京書籍（東）、教育出版（教）の3社における事項の描き方を比較しました。

例①関東大震災＝（自）（P.221）は東京復興への教訓となったプラス面のみだが（教出）と（東）は経済への影響や暴動にも触れている。

例②大東亜戦争＝（自）（P.225）は大東亜戦争との項目立てをしているが（東）と（教出）は大東亜共栄圏について時の政府が使った言葉や資料の事実として触れるのみ。（自）の記述は時の政府の目線の如く肯定的で異様。

例③教育勅語＝（自）（P.185）も明治政府の目線の如く肯定的。（東）と（教出）は「忠君愛

※原則、原文そのままに記載しています。



国」という時代的位置付けで捉えています。教出は「修身」が「教育勅語」に基き、戦後廃止されたこと等、ファクトに基いた記述です。

例を書けばきりがありませんが、自由社は果たしてファクトに沿って客観的にという歴史学に求められる姿勢において疑問があり、他社と比べて明らかに幼稚なのではないか?これまでの歴史家の蓄積から外れているのではと感じました。

### 30

#### 御意見・御感想

全体は通常の歴史教科書の構成・内容と変わらないが、神話、明治維新の美化、随所の「日本すごい」誘導のコラム（ex.ペリーの日記）など特定の史観は子どもが学ぶ教科書としては不適切と思う。特に日清戦争から第二次大戦に至る記述は公正な史実を逸脱し、子どもを誤った歴史認識に誘う強い危険をはらんでいる。日本の植民地支配やアジア侵略への無反省と美化も今後の日本国民の国際友好を損ねる危惧が強い。問題が多いからこそ不合格となった教科書をすでに採用している教科書の改めての再審議にかけないように求めます。

（追伸）子どものオリパラ観戦中止を決定した板橋区教育委員会の良識と決断に敬意を表します。今後とも、板橋の子どもを大切にする教育施策を期待しています。

### 31

#### 御意見・御感想

自由社のは、P.38～41を中心に神話を歴史として皇室の祖先神として、日本の国の成り立ちについて、多くのページを使って解説し、P.52では、中国とちがって日本が天皇一姓であることを強調している。P.268にも「国民とともに歩まれた昭和天皇」が記され、東日本大震災においても天皇の言葉を紹介している。あまりに「天皇」の下での歴史になっている。震災についてもP.282「“自己犠牲”の精神が命を救う」という記述が協調されている。P.258大東亜戦争という記述で「日本兵が犯したとされる残虐行為をあることないこと暴きたて・・・」という書き方は、歴史教科書として、正しい書き方とは、とても思えない。まだ「見解がいろいろある」等ならと思うが、客観的事実を子どもたちに伝える姿勢が、疑わしい。

現在使用されている帝国書院の記述は、どういう事実があり、今何を学び どう生きるか考えさせる点があって評価できる。男女共同参画社会や現在残る沖縄の基地といったコラムとりあげ方を通して「今」を考えるヒントになる。P.230 沖縄戦は、わかりやすい。東日本大震災でも原発の被害が今なお続いていることに触れられている。福島から避難して板橋区で暮らしている子どもいる。短くても触れられていてよいと思う。P.262の憲法と「大日本帝国憲法」との比較は、三大原則を含まえ、表になっていて、何がどう変わり、何を柱としているか、とても、わかりやすい。

以上ぜひ、今の教科書を変えずに学べるのがよいと思います。

### 32

#### 御意見・御感想

自分の頃は、字の小さい写真なども少ない教科書と資料集を別に関きながらの学習でしたが1冊にすべて凝縮されていて流れるように読めるのがよいと思いました。

※原則、原文そのままに記載しています。

調べ学習や復習問題のページなども、考えをまとめるのによいと思います。近代においては、自分の頃とは違う写真や資料が使われており、新たな発見がありました。

内容について

人々が積みあげてきた歴史を、日本人の目からだけでなく、「外の目から見た日本」というコーナーで客観的に書かれているのもよいと思った。

構成・分量について

特定の時代にかたよらず、バランスがとれていると思う。

表記・表現について

中立に書かれていると思います。

### 3 3

御意見・御感想

理科・科学 → 原子力発電についての記述少ない。2011.3.11の東日本大震災で福島第一原発が爆発し、今も継続中である事を考えれば、原発（放射能）ゼロにすると決めた方が子供たちの未来は明るい。

道徳 → やはりこの教科に、教科書は不要で、内心を点数化することには、違和感がある。事例について、どう思うかの様な事柄は教科として不相応しくない。日常生活の中で、政治の中で、正義が行われていれば、人間として真実に、子ども達は育つと思う。大人達の生き方こそが子どもたちの手本になる。

国語 → 光村図書が、最も良いと思った。

内容について

自由社の先の大戦についての記述は、侵略戦争でなく、あたかも聖戦であったかの様で、教科書としては不相応しくない。

構成・分量について

天皇や自衛隊について記述スペースが多く取られていて、憲法改正に誘導している。

表記・表現について

現行憲法は、日本の憲法学者によって原案が作られたものであり、GHQによる押し付け、との記述は頂けない。

使用上の便宜について

非核三原則は、建前であり、事実上は、武器輸出も、受け入れもしている。原発維持で核兵器をいつでも作れる。アメリカの核の傘の下で安全保障があるという記述も、肯定的に書かれていておかしい。現、平和憲法に則った学校教育をお願いします。

※原則、原文そのままに記載しています。

## 御意見・御感想

今回の教科書再検討に大変大きなとまどいを感じています。これまでもこのように、修正→検定合格→再度採択ということがあったのか、私はわかっていませんが、大変不自然なものを感じます。

又、この検討を行うかどうかは自治体にまかされていると伺っていますので、何故、板橋区があえて実施するのも疑問です。

個人的考えからいえば、最も子どもたちに渡したくない教科書が復活できた背景に、「非民主的」「人々の命軽視」の現在の政府の陰を感じます。自由社教科書不採択はもちろん、このような審議を行われませんように希望します。

## 内容について

特に気になった点を示します。

①あまりの日本讃美記載に、大変疑問・不安を覚えます。このような教科書で中学生が歴史を学んだ時、負の事実は、理屈なく否定し、異なる意見に耳を貸さない姿勢を培うと思います。第2次世界大戦に至る過程での日本の侵略、加害に全くふれず、他国を「悪者」にし、やむをえない聖戦、アジアの解放に向けたアジアの願いを背負っての戦いとの位置づけでは、近隣国との友好を生み出す大人にはならないと感じます。

②天皇、政治家が歴史の主人公で社会をつくる、大多数の人々の姿は軽視されています。上記大戦との関係で言えば、沖縄での住民虐殺の実体も、子どもも含め、国民がいかにマスコミの片よった報道が教育の場での一方的方向づけで、押しこまれ又は導かれたのかは全く記されていませんし、文化人も、その時勢にそったとり上げ方であり、その後の自己否定、なやみ等にはふれない一面的取り上げ方になっています。

# 令和 2 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

## 中 学 校 【 社会 歴史 】

調査委員長

関屋 裕之

### 総 評

#### ○東京書籍

- ・小学校教科書に掲載した資料にマークが付しており、小学校の既習内容とのつながりを確認することができる。
- ・単元全体を貫く「探究課題」を設定して単元の見通しをもたせたり、「探究のステップ」を設定して解決を促す問い提示をしたりしている。
- ・歴史学習の基礎的な知識・技能を習得させる「スキル・アップ」のコーナーを 20 設定している。「読み取る」では、資料から読み取るポイントを示しており、「読み解く力」の育成につながる。
- ・QRコードは、「Dマーク」を使ってWEBページ2、シミュレーション7、他教科リンク18、他分野リンク6、動画2あり、学びを深めることができる。

#### ○教育出版

- ・小学校での既習内容・項目・資料等には、教科書本文の中に適宜「小学校」とマークが示されており、小学校の既習内容とのつながりを確認することができる。
- ・左ページ中央に「学習課題」があり、右ページ下には「確認」「表現」の取組が書かれ、一単位時間の流れが分かりやすい構成になっている。
- ・P75等「読み解こう」の活動が17あり、資料やグラフを読み取るポイントを学ぶことができる。「歴史の技」として、資料活用の方法や手順を8示している。
- ・P289「歴史学習の終わりに」ではSDGsの観点から、現代社会の課題をまとめている。

#### ○帝国書院

- ・章のはじめには「章の問い」を設け、見通しをもたせている。節末には、節の問いの振り返り、各章末には章全体のまとめるページがある。
- ・社会の様子を見開き1ページで描き、小学校の学習を振り返ったり、場面を探したりして、時代の特徴をつかむ構成である。
- ・43のコラムのうち、SDGsに関連するものが10ある。また、P286「未来に向けて」では、現代と未来のあり方について考える内容がある。
- ・QRコードが、目次、各章の最初のページ、タイムトラベル、章末のまとめにある。また、目次にあるURLからコンテンツメニューを見ることができる。

#### ○山川出版

- ・P18等写真・グラフ・表などからどのようなことを読み取るのか問う言葉が多用され、読み解くポイントが分かる。
- ・P26、P48、P80、P110、P148の「○世紀の世界」は、国・王朝の色分けがされているので、歴史や国家間の関係性を確認しやすい。
- ・2章以降の章の最初のページでは、日本史と世界史の代表的な出来事が年表にまとまっている。
- ・QRコードが18ある。

#### ○日本文教出版

- ・最初の単元で8ページを使い、年代・時代区分等の基本事項、小学校の既習項目を基にした学び方、歴史学習の視点がまとめられている。
- ・「資料活用」では、資料から読み取る視点が示されており、「読み解く力」の育成につながる。
- ・「女性史コラム」「先人に学ぶ」「地域に学ぶ」が設けられており、歴史学習を豊かにするコラムを多数掲載している。
- ・「見方・考え方」ではその学習に必要な「見方・考え方」の例を示し、「深めよう」では「見方・考え方」を働かせる問いを示している。

#### ○育鵬社

- ・学習のまとめでは、学んだ事を年表や地図に表し、自分の考えを記述する内容である。
- ・「鳥の目で見える○○（時代名）」「歴史ズームイン」「歴史のターニングポイント」「私の歴史博物館をデザインしてみよう」の特集ページ、記事が多数ある。
- ・P64等「歴史のターニングポイント」では、各時代の出来事について、話し合い活動を通して考えを深めていく内容である。
- ・巻頭から6ページを使って、各時代の代表的な美術品が掲載され、日本人の誕生について紹介している。

#### ○学び舎

- ・P10古代＝動物、P54中世＝交通手段等、各時代ごとにテーマを設定して、世界の様子を資料で紹介している。
- ・P282～293の巻末の年表は、11ページを使って、文字だけでなく肖像・家系図などの資料も掲載し、復習しやすい。
- ・「歴史を体験する」では、P34「火おこし」のように生活の体験のようなものもあれば、P104「インターネットで洛中洛外図屏風を見る」のように自主的な活動を促すものもある。
- ・P13「人類と火の使用」等見開きの右下に、活躍した人物や発展的な内容の記事が書かれている。

## 令和2年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○小学校教科書に掲載した資料に「小学校のマーク」が付してある。</p> <p>○歴史学習の基礎的な知識・技能を習得させる「スキル・アップ」のコーナーを20設定している。「読み取る」では、資料から読み取るポイントを示しており、「読み解く力」の育成につながる。</p> <p>○歴史をとらえる見方・考え方や身近な地域の歴史について学ぶことができる内容を巻頭に12ページ設けている。</p> <p>○SDGsから現代的な諸問題を読み解くために、教科書を「環境・エネルギー」「情報・技術」「防災・安全」「人権・平和」「伝統・文化」の5つのテーマで貫いている。</p>	<p>○資料を多く使用しているため、教科書本文の内容説明がおおまかになっている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○P12～13には「見方・考え方」の説明があり、本文中には「見方・考え方」を働かせる場面のアイコンを付けている。</p> <p>○単元全体を貫く「探究課題」を設定して単元の見通しをもたせたり、「探究のステップ」を設定して解決を促す問い提示をしたりしている。</p> <p>○見開き1単位時間とし、導入→学習課題→本文→チェック&amp;トライで振り返りという流れで構成されている。</p> <p>○P60「くらげチャート」P97「Xチャート」など、6種類の思考ツールを活用して学習内容を考察する活動を設定している。</p>	<p>○「地域の歴史を調べよう」は、聞き取り調査やフィールドワークの方法についての内容であるため、各章の内容に沿ったものになっていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ふりがなの文字濃度を変えている。</p> <p>○ページの下には「年表スケジュール」が記載され、時代を確認しながら学習に取り組むことができる。</p> <p>○QRコードは、「Dマーク」を使ってWEBページ2、シミュレーション7、他教科リンク18、他分野リンク6、動画2を見ることができ、学びを深めることができる。</p>	<p>○Dマークが見付けにくい。また、本文ページの欄外に「項目の年表」「探究のステップ」「チェック&amp;トライ」があるが、文字が小さく、周りの文字数が多いため、読みづらい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○サイズはA4判で295ページ。巻頭に写真3ページ、巻末に折り込み年表両面刷りが1枚収録されている。</p> <p>○見やすいユニバーサルデザインフォントを採用し、グラフや地図はカラーユニバーサルデザインに対応している。</p> <p>○不要な陰影や立体感のあるデザインをなくし、学習内容に集中できる工夫がされている。</p>	<p>○字が小さく細い。</p>
発 展 的 内 容	<p>○地理や公民の学習と特に関連の強い内容には「分野関連マーク」が付いている。また、他教科の学習と特に関連の強い内容には「教科関連マーク」を付けている。</p> <p>○「もっと歴史」では、学習内容をより深化したり様々な教科・分野に発展できる題材を紹介している。</p>	<p>○「もっと歴史」は読み物資料なので、視点や思考を広げる学習につなげるためには、さらに手だてが必要となる。</p>

## 令和2年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○小学校での内容・項目等には、教科書本文の中に適宜「小学校」とマークが示されている。</p> <p>○P75等「読み解こう」の活動が17あり、資料やグラフを読み取るポイントを学ぶことができる。また「歴史の技」として、資料活用の方法や手順を8示している。</p> <p>○歴史のとらえ方・調べ方や身近な地域の歴史、学習の進め方について学べるように、巻頭16ページ設けている。</p> <p>○P289「歴史学習の終わりに」ではSDGsの観点から、現代社会の課題をまとめている。</p>	<p>○ねらいとなる学習課題を解決するための資料としては、読み取るのが難しい資料がある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○導入、本時、特設ページ（20テーマ）、学習のまとめと表現のページで単元が構成されている。</p> <p>○左ページ中央に「学習課題」があり、右ページ下には「確認」「表現」の取組が書かれ、一単位時間の流れが分かりやすい構成になっている。</p> <p>○本文欄外の資料説明、側注解説、コラム等の表記のスペースを広く取っており、分かりやすい。</p> <p>○歴史学習での見方・考え方についての説明がある（P7）</p>	<p>○特設ページに地理や公民の学習につながる内容を示す表示がページの下に表示されているが、本文中には示されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○国宝、重要文化財、世界遺産については、マークで分かりやすく表記されている。</p> <p>○P26「すべての道はローマに通ず」等、タイトルが工夫されている。</p> <p>○QRコード「まなびリンク」は、目次に1、各章の表紙ページに6ある。</p>	<p>○「歴史を探ろう」が14あり、読み物題材が多いため、活字が多い内容になっている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○サイズはA B判で298ページ。巻頭に写真2ページ、目次に主な人物の肖像画、写真の折り込み、巻末に年表、旧国名、江戸時代の産業と交通が掲載されている。</p> <p>○大航海時代の地図が折り込みで、両面刷りが2枚収録されている。</p> <p>○見やすいユニバーサルデザインフォントを使用し、図やグラフなどは、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。</p>	<p>○折り込みを開かなければ目次が見られない。</p>
発 展 的 内 容	<p>○高校「歴史総合」へのつながりを意識して、日本と世界との関係を捉えながら学ぶ内容構成（P72～73等）とし、通史学習の充実を図っている。</p> <p>○巻末1では地域区分や産業・交通の確認ができる地図や、巻末2～3の「歴史年表」は見開きで一覧することができるなど、自学自習で有効に活用できる資料が掲載されている。</p>	<p>○教科書全体を通して、話し合う活動が少ないので、意図的に入れていく必要がある。</p>

## 令和2年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 帝国書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「技能をみがく」は、12のテーマで、歴史の見方や考え方を働かせる上で必要な技能を身に付ける内容である。</p> <p>○最初の単元で、14ページを使い、年代・時代区分、地域教材を基にした学び方・まとめ方、歴史学習の視点等を学べる内容がある。</p> <p>○学習内容に深く関わった様々な立場の人々の紹介をP174等49名コラムとして掲載している。</p> <p>○43のコラムのうち、SDGsに関連するものが10ある。また、P286「未来に向けて」では、現代と未来のあり方について考える内容がある。</p>	<p>○各単元の振り返りステップ3「説明しよう」は、難易度が高かったり焦点を絞りすぎているものがある。 (P105、P137、P191、P211等)</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○章のはじめには「章の問い」を設け、見通しをもたせている。節末には、節の問いの振り返り、各章末には章全体のまとめるページがある。</p> <p>○各単元は、学習課題の提示、学習内容の理解、学習内容の確認、振り返りという構成になっている。</p> <p>○社会の様子を見開き1ページで描き、小学校の学習を振り返ったり、場面を探したりして、時代の特徴をつかむ構成である。</p> <p>○P12では歴史の「見方・考え方」について説明がされている。</p>	<p>○各時代の文化や項目によって、写真資料等が多用され、ページ数や本文の文字数に違いがある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○P21等「資料活用」では、読み取りの視点を掲載しており、技能習得を助けている。</p> <p>○知識・技能を確実に習得するために、解説を54掲載している。</p> <p>○QRコードが、目次や、各章の最初のページ、章末のまとめなどにある。</p>	<p>○QRコードがどのページにあり、どのような内容なのかの説明がない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書はA B判で、ページ数は292ページ。表紙裏ページに見開きの日本の伝統行事と祭りの紹介、巻末に折り込み年表と日本の世界遺産の紹介の両面刷りが2枚収録されている。</p> <p>○各ページの袖に単元の時代を示す年表が2色刷りで示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、グラフや資料にはカラーユニバーサルデザインを取り入れている。</p>	<p>○小単元の表題の位置はそろっていない。(例、P53、P109、P156など)</p>
発 展 的 内 容	<p>○「多面的・多角的に考えてみよう」のコラムが3テーマ設定し、歴史的な見方・考え方を働かせながら、自らの意見を理由とともに説明したり話し合ったりすることができる。</p> <p>○小学校、地理・公民の分野で学ぶ事項について、教科書本文の最初のページ左下にマークがあり、小学校の内容や分野横断的に学習を行うための参考となる。</p>	<p>○「未来に向けて」のコラムのテーマは、知識・理解を深める内容になっており、対話的な学びに結び付けにくい。</p>

## 令和2年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 山川出版社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史を考えるための年表や学習の進め方について学べるように、巻頭9ページ（第1章）設けている。</li> <li>○P18等写真・グラフ・表などからどのようなことを読み取るのか問う言葉が多用され、読み解くポイントが分かる。</li> <li>○まとめは、文章記述により基礎的・基本的な知識・技能を習得していくようになっている。</li> <li>○「コラム」として教科書の内容をより深めていく情報が多く紹介されている。</li> </ul>	○SDGsについて、具体的な記述はない。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法令や作品など、原文のまま掲載するなど、豊富である。</li> <li>○P136、P144等絵図史料を提示する際に、注目すべきポイントを□で囲い拡大している。</li> <li>○P284～「さくいん」は、人名の事項に分けられ、検索しやすい。</li> <li>○本文に出てくる人物について、人物マークを付け、詳しく説明されている。</li> </ul>	○各単元の右下に配置された「ステップアップ」の質問が、教科書の記述を読むだけでは答えられないものもあり、生徒の発展的な学習を促すものである。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○P26、P48、P80、P110、P148の「○世紀の世界」は、国・王朝の色分けがされているので、歴史や国家間の関係性を確認しやすい。</li> <li>○2章以降の章の最初のページでは、日本史と世界史の代表的な出来事が年表にまとまっている。</li> <li>○QRコードが18ある。</li> </ul>	○文字や行間が小さい。
使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サイズはA判で288ページ。</li> <li>○文字は、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。カラーユニバーサルデザインを取り入れている。</li> <li>○P202「綿糸の輸出入のグラフ」では、グラフの線を実線と点線に分ける等、工夫が見られる。</li> </ul>	○世界や日本の歴史を載せた大きな年表がない。
発展的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」「地域からのアプローチ」などの発展的内容が3～6ページある。</li> <li>○発展的な内容のページのうち、「歴史を考えよう（全6か所）」は、歴史資料や絵図で課題を話し合い、考察する内容となっている。</li> </ul>	○P172等、詳細な資料を掲載しているため、発展的な考察をするには時間がかかる。



## 令和2年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「スキルUP」では、歴史学習に必要な技能を9種類に整理し、生徒の発達段階に応じて系統立てて習得できるようにしている。</p> <p>○「資料活用」では、資料から読み取る視点が示されており、「読み解く力」の育成につながる。</p> <p>○最初の単元で、8ページを使い、年代・時代区分等の基本事項、小学校の学習項目や学び方、歴史学習の視点がまとめられている。</p> <p>○主な時代ごとに「でかけよう！地域調べ」という項目を設けて、その時代の歴史理解を深めたり、「女性史コラム」では、各時代の女性史にスポットをあてて、それぞれの時代の特色を考えたりできる内容である。</p>	<p>○古代文明では、同時期における日本との比較がないため、古代文明と日本の歴史との関連性が理解しにくい。</p>
構成・分量	<p>○一単位時間ごとの「学習課題」が左上に、「確認」で学習を振り返る構成になっている。</p> <p>○章末のまとめの単元は、略年表による重要事項の振り返りと、1つの視点から時代の全体像をつかむ構成となっている。</p> <p>○文化史の単元では、他の単元よりページ数を増やし、豊富な資料で理解を深められる内容となっている。</p> <p>○「見方・考え方」ではその学習に必要な「見方・考え方」の例を示し、「深めよう」では「見方・考え方」を働かせる問いを示している。</p>	<p>○小単元が必ずしも見開き2ページとなっておらず、小単元によっては情報過多となっている箇所もある。</p>
表記・表現	<p>○ページ右端に年表が書かれている。</p> <p>○各章の冒頭にその時代の世界地図が示されており、世界史的な視点をもちながら日本史を理解できるよう工夫されている。</p> <p>○デジタルマークが14ある。</p>	<p>○デジタルマークが見付けづらい。</p>
使用上の便宜	<p>○サイズはA4判で317ページ。巻末に折り込み年表が3枚収録されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインが取り入れられている。</p> <p>○単元・内容により小学校の学習内容や地理的分野・公民的分野との関連性がある部分を記号で明記している。</p>	<p>○教科書中央部に挟まれている折り込み見開きの資料絵図は、分量の割に活用頻度が限られる。</p>
発展的内容	<p>○P215「先人に学ぶ」で、歴史的出来事から命の尊さを伝えることで、道徳との関連が図れる。また、「女性史コラム」で各時代の女性に焦点を当てることで、男女や平等について考えることができる。</p> <p>○巻末の「『歴史との対話』を未来に活かす」では、現代的な課題を3つ提示している。</p>	<p>○「歴史との対話」では、多くの資料を比較、検討するため、情報の整理が難しい。</p>

## 令和2年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 育鵬社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭から6ページを使って、各時代の代表的な美術品が掲載され、日本人の誕生について紹介している。</li> <li>○学習のまとめでは、学んだ事を年表や地図に表し、自分の考えを記述する内容である。</li> <li>○P64等「歴史のターニングポイント」では、各時代の出来事について、話し合い活動を通して考えを深めていく内容である。</li> <li>○ページ右下には毎時間の言語活動に取り組めるように、歴史的事象の意味の解釈や関連を説明させる内容である。</li> </ul>	○課題やまとめを意識しづらい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一単位時間の学習が「つかむ」→「調べる」→「まとめる」で構成されている。</li> <li>○巻末①～④には、代表的な世界文化遺産の地図・写真、日本の主な史跡の地図が掲載され、教科書ページが表記されているので復習にも使いやすい。</li> <li>○各章扉には、その時代を象徴する船を取り上げている。</li> <li>○導入の資料等キャラクターの問いかけが随所にある、考えるポイントとなる。</li> </ul>	○学習の見通しをもたせるための資料が章扉の資料、「鳥の目で見ると」「虫の目で見ると」と3つあり、活用の仕方を考える必要がある。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用される地図は見やすい。</li> <li>○歴史用語・地名だけでなく、一般的な語句にも読み仮名が付けられている。</li> <li>○P295～302の巻末の索引は、人物と、その他の事項が分けられており、検索しやすい。</li> </ul>	○デジタルコンテンツ等は使用されていない。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サイズはA4判で302ページ。</li> <li>○各単元のタイトルの横に学習課題が明記されている。また、学習課題に対応したまとめの問いが見開きの右下に提示されている。</li> <li>○カラーユニバーサルデザインへの配慮はされている。</li> </ul>	○ユニバーサルデザインフォントは使用されていない。
発 展 的 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「鳥の目で見ると（時代名）」「歴史ズームイン」「歴史のターニングポイント」「私の歴史博物館をデザインしてみよう」など特集ページ、記事が多数ある。</li> <li>○「歴史のまとめ」では、今までの学習を総合的に考えるために、歴史新聞を作ったり、日本の歴史を大観する活動や400字程度の文章にまとめる活動など、自分の学びを言葉にする活動が取り入れられている。</li> </ul>	○P287「私の歴史博物館をデザインしてみよう」では、説明が少ないため、イメージしにくい。

## 令和2年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 学び舎 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○本文は、人物や人々の動向に着目した説明が色濃い内容となっている。</p> <p>○P 6～9を使って、歴史の学び方を説明している。</p> <p>○学習のまとめでは、推理やインタビュー、四コマ漫画など、生徒の興味を引く活動を取り入れている。</p> <p>○フォーカスでは、その当時の様子に焦点を当てて、詳しく紹介している。</p>	<p>○思考を促す問いや「見方・考え方」についての説明がない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○P 1 0 古代＝動物、P 5 4 中世＝交通手段など、時代ごとにテーマを設定して世界の様子を紹介し、学習課題につなげている。</p> <p>○近現代、特に第二次世界大戦での民衆の証言や手記が豊富である。</p> <p>○P 2 8 2～2 9 3の巻末の年表は、1 1 ページを使って、文字だけでなく肖像・家系図などの資料も掲載し、復習しやすい。時系列は縦に並び、社会、文化、世界の出来事の関連をつかめるようにしている。</p> <p>○写真を多用し、当時の様子がよく分かる紙面作りになっている。</p>	<p>○各単元のまとめの活動や視点について表記がない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○P 1 0、P 3 6、P 5 4などの章の扉ページには、北極を中心にした世界地図が描かれて、各地の様子を表す写真や絵が載っている。</p> <p>○P 1 1 2 「刀より金銀の力」等、各単元の表題が物語的なタイトルになっており、興味を引く。</p> <p>○A 4 判で大きくて見やすい。</p>	<p>○本文の重要な語句が太字等で強調されておらず、重要語句を捉えづらい。また、索引が人物と事柄に分かれていないため、調べにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○サイズはA 4 判で2 9 9 ページ。</p> <p>○見開き両側の資料や補足の部分が、薄く色分けされており、本文との区別が明確である。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントは使用されていないが、カラーユニバーサルデザインへの配慮はされている。</p>	<p>○図の番号が本文中に入っていない。</p>
発 展 的 内 容	<p>○「歴史を体験する」では、P 3 4 「火おこし」のように生活の体験のようなものもあれば、P 1 0 4 「インターネットで洛中洛外図屏風を見る」のような自主的な活動を促すものもある。</p> <p>○P 1 3 「人類と火の使用」等、見開きの右下に、活躍した人物や発展的な内容の記事が書かれている。</p>	<p>○発展的な学習は、各章の振り返りのページに限られている。</p>

令和2年 7月 6日

## 令和2年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

教科【 社会 】

種目【 歴史 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 帝国書院 ）
内 容	<p>○「スキル・アップ」では、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けることができ、それを活用した「集める」「読み取る」「まとめる」活動を記載している。</p> <p>○持続可能な社会の実現に向けて、巻頭P3～P1、P271でSDGsを取り上げている。</p> <p>○小学校の学習を振り返る活動や、小学校マークを付ける等、既習内容とのつながりを意識できる。</p>	<p>○資料を読み解く視点を問いの形で示している。</p> <p>○歴史学習の終わりにSDGsを取り上げ、歴史での学習を振り返り、未来を構築する学習に取り組む内容である。</p> <p>○小学校で習った人物には資料にマークが付いている。</p>	<p>○「技能をみがく」では、歴史を学ぶ上で必要な基礎的な技能が掲載されている。</p> <p>○SDGsに関するコラムが10記載されている。</p> <p>○各時代の冒頭に「小学校で学んだ主な出来事」の年表が設置され、小学校で学んだ人物について確認することができる。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○単元の始めに探究課題が記載され、探究のステップが示されている。</p> <p>○歴史的な「見方・考え方」を活用するコーナーを設け、学ぶ視点を与えている。</p> <p>○章のまとめでは、思考ツールを活用している。</p>	<p>○節を貫く問いが記載されている。</p> <p>○歴史的な「見方・考え方」を働かせて課題を追究したり、解決したりすることができるように工夫されている。</p> <p>○見開き右ページ下には、「確認」と「表現」の項目があり、毎時間の学習のまとめや振り返りの目安になっている。</p>	<p>○節を貫く問いが記載されている。</p> <p>○「タイムトラベル」では、前の時代と比べることで、歴史的な「見方・考え方」を働かせることができる。</p> <p>○本文ページの右下には「確認しよう」「説明しよう」が設定されており、授業の振り返りや学習の確かめができる。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○地理や公民の関連ページにリンクするQRコードが付いている。</p> <p>○各単元の左下に略年表がある。</p> <p>○巻頭に日本の国宝・重要文化財の写真が掲載されている。</p>	<p>○各章の扉ページには、「まなびリンク」があり、デジタルコンテンツが用意されている。</p> <p>○タイトルの上部に時代区分を示した年表が付いている。</p> <p>○巻頭は「私たちにつながる歴史」とし、伝統や文化財、メディアの多様化等に関連する写真を掲載している。</p>	<p>○QRコードがページ右上に付いており、動画のコンテンツを視聴できる。</p> <p>○見開きページの右側に、時代区分を示した年表が付いている。</p> <p>○巻頭に日本各地の伝統行事と祭りの写真が掲載されている。</p>
使用上の便宜	<p>○AB判で、295ページである。</p> <p>○小単元末に「トライ」を設定し、限られた文字数で説明する問題が示されている。</p>	<p>○AB判で、298ページである。</p> <p>○歴史について説明する力を高めるために、小単元末に「表現」を設定している。</p>	<p>○AB判で、292ページである。</p> <p>○「説明しよう」が小単元ごとに設けられ、学習した内容をキーワードを使って説明する課題が設定されている。</p>
発展的内容	<p>○他教科や他分野の学習とつながりの強い内容にマークを付けており、横断的な学習を行うことができる。</p> <p>○「もっと歴史」では、テーマに沿って豊富な資料を載せ、より深い理解につなげている。</p>	<p>○地理や公民との関連を見開きページ左下に記載している。</p> <p>○「歴史を探ろう」では、具体的なテーマや事例を取り上げ、歴史学習を深めることができる。</p>	<p>○小学校・地理・公民との関連が記され、横断的な学習を行うことができる。</p> <p>○「多面的に考えよう」は、授業の内容を生徒自身がもう一度考え直すきっかけとなる。</p>

## 令和2年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

教科【 社会 】

種目【 歴史 】

	発行者( 山川出版社 )	発行者( 日本文教出版 )	発行者( 育鵬社 )
内容	<p>○「〇世紀の世界」というページを設け、日本の歴史と世界の歴史の関係や特徴を知り、学習につなげることができる内容である。</p> <p>○章のまとめでは、表にまとめたり、文章で説明したりして、学習内容を振り返り、理解を確認する内容となっている。</p> <p>○土地制度や行政機構など、専門的な知識が扱われている。</p>	<p>○「スキルUP」では、歴史学習に必要な技能を身に付けることができる内容を記載している。</p> <p>○導入単元では、小学校での学びを振り返り、「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習の仕方を理解できるようになっている。</p> <p>○教科書の下に小学校で学習した人物が掲載されている。</p>	<p>○学習のまとめでは、年表や地図にまとめたり、自分の考えを記述したりする内容である。</p> <p>○巻頭P1～6では、日本の代表的な美術品で歴史をたどったり、各章扉では「海洋国家 日本の歩み」としてそれぞれの時代を代表する船舶を紹介したりしている。</p> <p>○序章では、小学校で学んだ歴史について振り返り、地域の歴史の調べ方や発表の仕方など、中学校での歴史学習に必要なことを学ぶ内容が記載されている。</p>
構成・分量	<p>○資料について、生徒に考えて欲しいところに発問を付し、「見方・考え方」を働かせて読み取るよう示唆している。</p> <p>○タイトルの下は、本時の課題があり、ページ左下には「ステップアップ」として、より深めたい課題が示されている。</p> <p>○重要な資料や、注目すべき人物にはマークを付けて、詳しく説明がされている。</p>	<p>○学習課題の解決のためのヒントとなる「見方・考え方」を示し、「深めよう」では、学習課題の理解をさらに深めるための問いが示されている。</p> <p>○導入ページで、単元の「めあて」を明示し、本文ページで個々の学習課題を考え、チャレンジ問題で考察を深め、まとめのページで振り返る構成になっている。</p> <p>○文化史の単元では、ページ数を増やし、資料を多く掲載している。</p>	<p>○「史料の読み方」や「歴史にズームイン」など、「見方・考え方」を働かせ、多面的・多角的に考察する力を養うように配置している。</p> <p>○見開き左上のタイトルの横には課題が掲載され、右下には、まとめとして説明する課題が掲載されている。</p> <p>○章扉、「鳥の目で見ると」「虫の目で見ると」のページで時代の流れを眺めたり、時代の特徴を考えたりしてから、学習に入る構成となっている。</p>
表記・表現	<p>○博物館・資料館のホームページや動画にリンクするQRコードが付いている。</p> <p>○通史の年表は掲載されていないが、2章以降、章の最初のページに世界史と日本史をリンクさせた年表が付いている。</p> <p>○巻頭に日本の世界遺産の写真が掲載されている。</p>	<p>○WEBページのデジタル資料にリンクするQRコードが付いている。</p> <p>○見開きページの右側に時代区分を示した年表が付いている。</p> <p>○巻頭は「私たちと歴史のつながり」とし、オリンピックや地域に関する伝統行事、衣食住に関連した写真や絵を掲載している。</p>	<p>○見開きの学習内容は、古代から現代に至るまで、通して番号が振られている。</p> <p>○章扉に、歴史のもののさがしに掲載され、学習範囲を示している。</p> <p>○巻頭では、日本人誕生の物語について、写真を使って説明している。</p>
使用上の便宜	<p>○AB判で、288ページである。</p> <p>○歴史について説明する力を高めるために、章末に記述式の問題が設定されている。</p>	<p>○AB判で、317ページである。</p> <p>○小単元末に「確認」を設定し、学習した内容を説明する問題が示されている。</p>	<p>○AB判で、302ページである。</p> <p>○歴史について説明する力を高めるために、学習した内容をキーワードを使って説明する課題が設定されている。</p>
発展的内容	<p>○「ステップアップ」では、学んだことを活かしてさらに深められる課題が示されており、発展的な学習を促すようになっている。</p> <p>○高等学校で扱う資料が掲載されており、「歴史総合」の学習を意識した内容となっている。</p>	<p>○連携コーナーでは、地理や公民とのつながりを示している。</p> <p>○「チャレンジ歴史」では、資料を基に生徒自身が考えたり、対話したりしながら歴史のおもしろさを知ることができる。</p>	<p>○「歴史のターニングポイント」「私の歴史博物館をデザインしよう」では、さらに掘り下げて考えたり、意見交換したりすることができる。</p> <p>○「歴史にズームイン」や「人物クローズアップ」では、日本の国家形成に努力した人々や、日本の文化・風土の優れた点を学ぶことができる。</p>

令和2年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

教科【 社会 】

種目【 歴史 】

	発行者( 学び舎 )	発行者( )	発行者( )
内容	○小単元の最初には、「フォーカス」という記事が掲載され、導入部で当時の様子について生徒の興味を引く内容が掲載されている。 ○巻頭と巻末に歴史地図が掲載され、主な史跡や関係地等の位置を確認しながら学習に取り組める内容である。 ○小学校の学習を振り返り、調べ学習の方法を体得できるようにする等、小学校での学習を生かし、自主的な学習を促している。		
構成・分量	○章末の「話し合しましょう」では、「見方・考え方」を働かせて話し合うことができる問題が掲載されている。 ○章の始めに見開きで世界地図を掲載し、各時代の世界各地の特徴や共通性を考察できる。 ○当時の様子が分かる写真が多用されている。		
表記・表現	○本文中の太字や指示をなくし、読みやすさを追求している。 ○文化史が年表ページにまとまっている。 ○巻頭は史跡等が示された世界地図を掲載している。		
使用上の便宜	○A4判で、299ページである。 ○歴史について説明する力を高めるために、章末に学習した内容を説明する問題が設定されている。		
発展的内容	○「歴史を体験する」では体験の例を示したり、「地域の歴史を歩く」では、地域探検を紹介したりしている。 ○見開きの右下には、人物やさらに深く歴史を理解する内容の記事が掲載されている。		